

必為堂記 并發

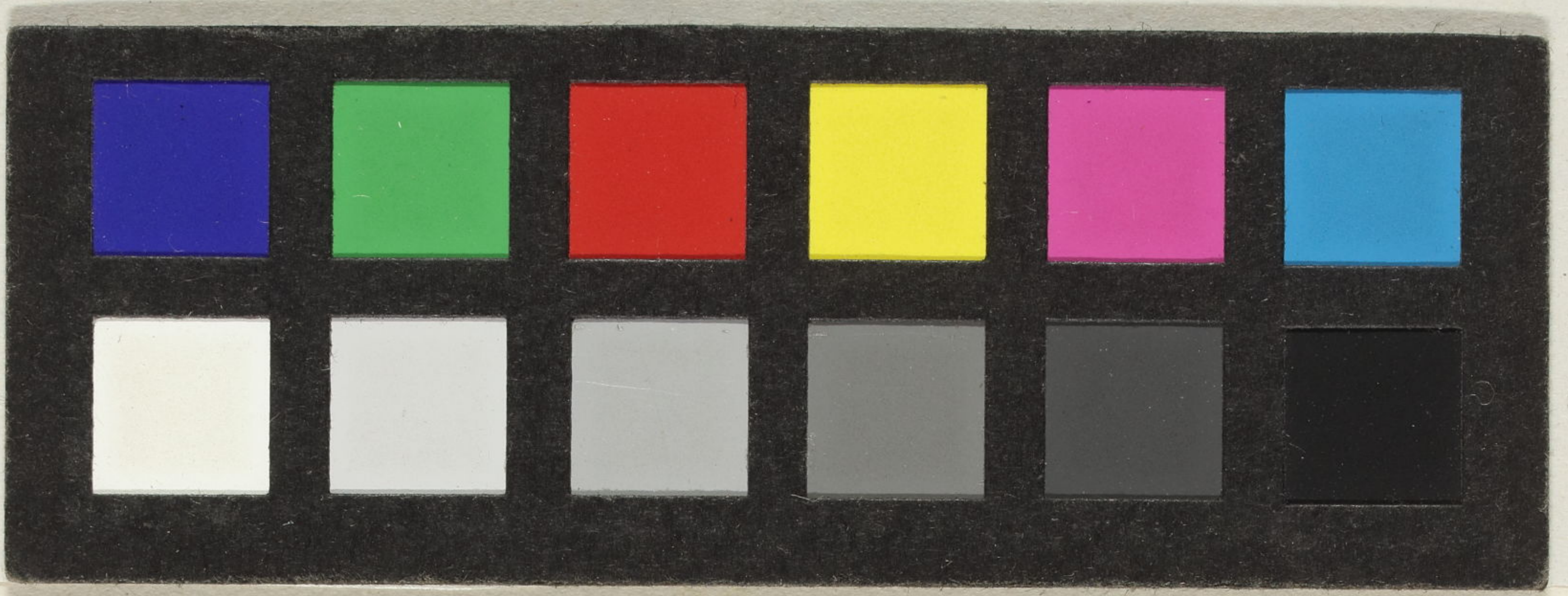
繁るる舟術施和
必即ありと云はる
そらふらふ茶茶
善美は口茶茶のり
つて御色のおら
りてりてりてりて
頼れあふりてりて
何と時りてはと無
け一ちたれふらら
ふらふらふらふら
ありふらふらふら
ハハハハハハハハハ
何喜かふらハ境ハ
わ外りてりてりて
らたふらふらふら
あふらふらふら
長はるる屋と
ふらふらふらふら





必自堂記 并發の
 策を丹衛施和
 必即ありし言ひ也
 在るに日る宗サヤ
 美義は口平出のしり
 べて御金の路がら
 りてくんとややく臣
 頼れあつてふとくさ
 けと時りて海と並ふ
 け一あせれんところあ
 りいんてあふ河
 あらゆること
 海嘉の前の境人島ぬ
 死外りて御とけわ
 ことあすけ日せし
 名いぬこと
 官長して居て
 へはあつてもん
 には



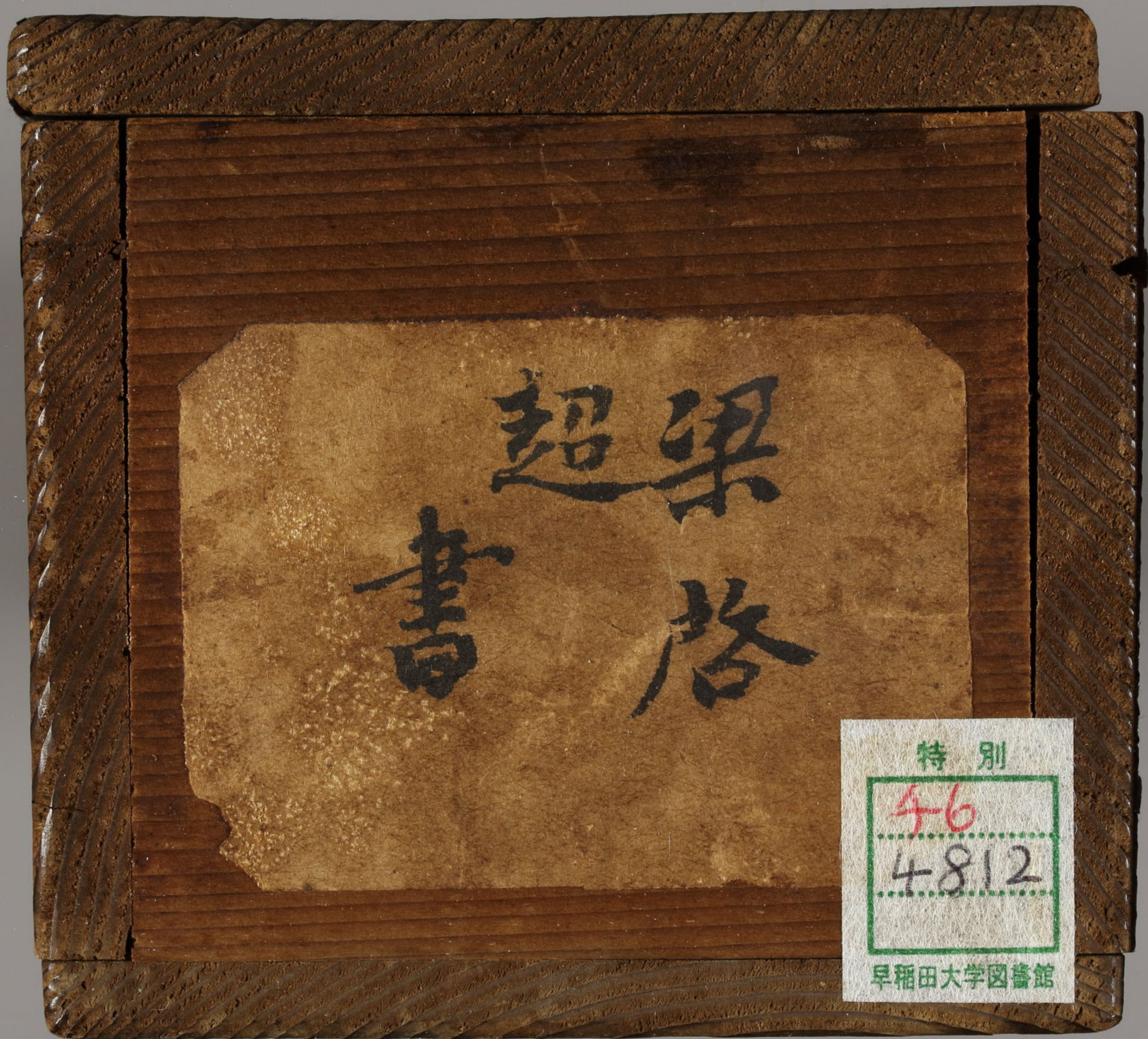
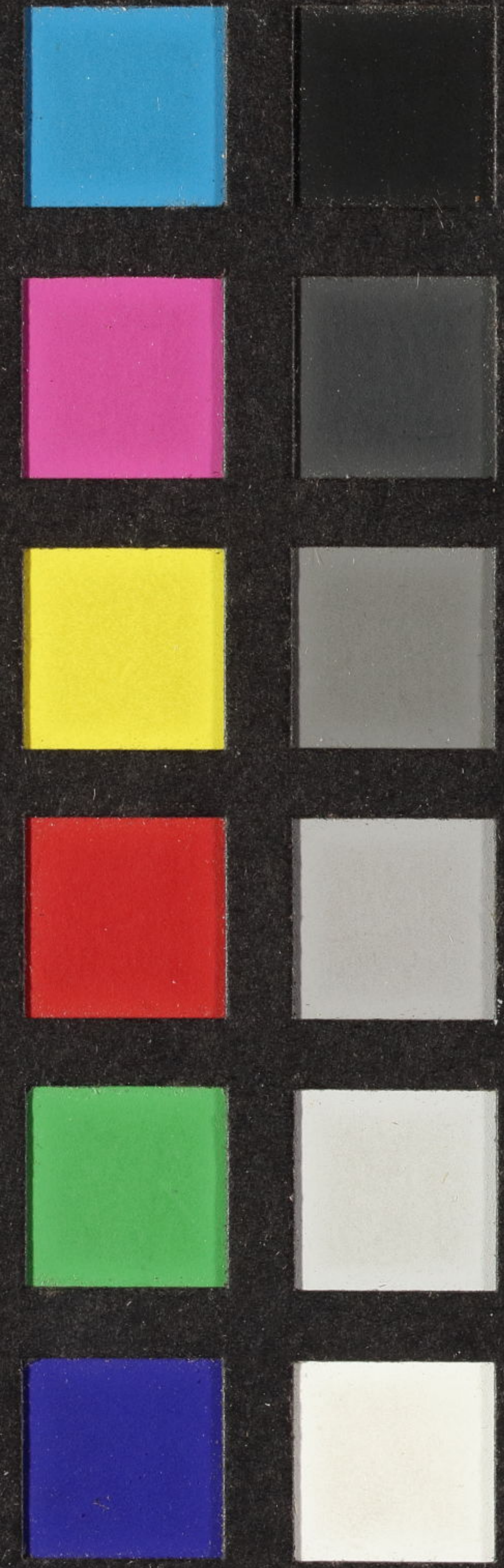






子6
4812





梁啓超
書

特別
46
4812
早稲田大学図書館

